



- 岩田 昌久¹⁾ 渡辺 和志¹⁾ 高橋 健児¹⁾ 岡村 美恵子¹⁾ 小峰 一芳¹⁾ 本澤 一路¹⁾ 井原 聡一郎¹⁾ 高橋 和代¹⁾ 佐々木 隆子²⁾ 川端 啓義¹⁾ 井出 良子¹⁾ 島田 篤¹⁾
- (1) 埼玉県歯科医師会 2) 埼玉県歯科医師会口腔保健センター)

- Masahisa Iwata, Kazuyuki watanabe, Kenji Takahashi, Mieko Okamura, Kazuyoshi Komine, Ichiro Honzawa, Souichirou Ihara, Kazuyo Takahashi, Takako Sasaki, Hiroyoshi.Kawabata, Ryoko Ide, Atsushi Shimada

要旨

埼玉県では「スポーツ王国埼玉」として、平成11年より「スポーツいきいき彩の国」を基本理念に、県民の誰もが主体的にスポーツ活動に取り組める環境の整備を進めている。平成25年には、「埼玉県スポーツ推進計画ースポーツを通じた元気な埼玉づくりー」を策定し、一層の競技力の向上を図るとともに、公正さやフェアプレイの精神を尊ぶ選手の育成の為、スポーツ医・科学の専門家や大学等との連携を深め、安全で効果的なトレーニングの実践や、ドーピング防止教育の推進に取り組んでいる。

一方、埼玉県歯科医師会では平成15年に当時の学術担当理事である島田篤（現埼玉県歯科医師会会長）のもと、県民の多種・多様なニーズに対応し、信頼される歯科医療を確保すべく新たな歯科医師会への挑戦として、プロジェクトDを立ち上げ、歯科人間ドック、レーザー、ホワイトニングなどとともに、これからの分野としてスポーツ歯学の講習会を開始した。

平成24年からは、井出良子が学術担当理事に就任、より充実した内容へと発展した。同時に日本スポーツ歯科医学会理事長である安井利一先生（明海大学学長）のご指導のもと、同学会認定講習会となり都道府県歯科医師会主催の講習会としては、数少ないマウスガードテクニカルインストラクター取得可能な講習会へと進歩を遂げている。

また、平成27年からは埼玉県体育協会主催「彩の国プラチナキッズ」に東京医科歯科大学の上野俊明准教授によるご指導のもと、スポーツ歯学の講習を開始した。

一方、平成25年から始まった日本体育協会公認「スポーツデンティスト」では、県歯科医師会の代表として受講生の選出を行い、東京オリンピック・パラリンピック、国民体育大会など埼玉県で主催される体育大会における協力体制を強化している。

活動内容

① スポーツ歯学講習会

カスタムメイドマウスガード普及の為、東京医科歯科大学、東京歯科大学、明海大学の協力のもと2日間にわたり会員向けに講義、実習を行なっている。

講習1日目には、スポーツ歯科医学総論、スポーツに関連する歯科的問題、スポーツ栄養等、基本的講義を多岐にわたり、特に近年問題となっているドーピングに関しては歯科医師の立場から注意すべき点についての講義を行っている。2日目はスポーツマウスガードに関して、概論からシングルレイヤーマウスガード製作実習、マルチレイヤーマウスガード製作デモなど実施している。本講習の特筆すべき点として、日本スポーツ歯科医学会認定「マウスガードテクニカルインストラクター」資格取得が可能なが挙げられる。平成27年度までに約20人の会員が認定資格を取得し、今後も増加する予定。

さらに、講習・実習ともに明海大学、東京医科歯科大学等の研修医、医局員、大学院生も本講習に参加しており、埼玉県歯科医師会会員との交流を深める役割も担っている。



② 彩の国プラチナキッズ

9歳から12歳の子供たちは「ゴールデンエイジ」と呼ばれ、脳・神経系の発達が完成に近づき、動作の習得に対する準備態勢が整い、国際的にも競技力向上に必要なあらゆる能力を身に付けるための最適な時期とされており、埼玉県では平成23年度から「埼玉県ジュニアアスリート（彩の国プラチナキッズ）発掘育成事業」を実施。県内の小学校4年生を対象に、スポーツ能力に優れた素質を持つ子供たちを組織的に発掘し、関係団体と連携しながら、ジュニア期から発達段階に応じた適切な育成プログラムを実施している。これにより、中学校・高等学校の大会、国民体育大会を通し、将来、オリンピック・世界選手権などの国際大会で活躍し、県民に夢と感動を与えるトップアスリートを誕生させることを目的としている。

選考は実質40倍以上の難関であり、選ばれた子供たちは小学6年生までフェンシング、スケート、レスリング、馬術、ライフル射撃など多岐にわたり、これらを無料で受講することができる。様々な種目にわたり、スポーツにおける能力を計画的・継続的に向上させることを目指している。卒業生の中学・高校生は各大会にて好成績を挙げ、活躍中。

埼玉県歯科医師会では、この事業に口腔機能の大切さを認知してもらうため東京医科歯科大学の上野准教授による講演を実施している。講演に際しては、県歯ホームページの紹介（スポーツ歯科講習会受講者一覧を提示）なども行っている。



《平成28年度講演内容》

「歯とスポーツパフォーマンス」

- ・ 歯の外傷、予防について、マウスガード等
 - ・ 摂食の方法、よく噛んで食べる、噛カミング30等
 - ・ かみ合わせとスポーツパフォーマンスの関係（齲蝕、矯正の説明）
 - ・ 歯・口のチェック、噛みあわせ、マウスガードの相談
- 埼玉県歯科医師会のホームページを紹介
- ・ 日歯 8020 TVの紹介

③ スポーツデンティスト

平成24年度から様々なスポーツ現場において、競技者のパフォーマンス維持向上をはじめ、地域住民のスポーツを通じた健康づくりを支援し、健康寿命の延伸、QOLの向上などに寄与できるよう、スポーツ歯科に関する高い実践能力を有する人材を育成することを目的に日本スポーツ協会公認資格としての講習が行われている。

スポーツデンティストの役割として、以下の内容が掲げられている。

- ・ 歯科医師の立場からスポーツにかかわる国民の健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、予防、研究等。
- ・ 競技会等の医事運営の支援並びにチームデンティストとしての参加。
- ・ スポーツ歯科医学の研究、教育、普及活動。

このような状況の中、埼玉県歯科医師会では国民体育大会のみならず、2019年には熊谷ラグビー場にてラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピックではさいたまスーパーアリーナにてバスケットボール、霞が関カンツリー倶楽部ではゴルフ、埼玉スタジアム2002においてサッカー競技、射撃競技に関してはオリンピック、パラリンピックともに陸上自衛隊朝霞訓練場にて開催を控えていることから、県歯科医師会主催のスポーツ歯学講習会受講者より人選を行い、組織的な協力体制構築に努めている。

今後の展望

埼玉県歯科医師会では会員のスキルアップは基より、県民のスポーツを通じた健康維持・増進に、歯科医師という立場より、貢献できるよう活動を行っている。

今後、各講演会のさらなる充実を図り会員の研鑽と「スポーツ王国埼玉」の歯科医師会として県民に対してスポーツ歯学の普及に努めたい。